

報道機関各位

**北九州発！ 世界60カ国以上で普及！  
“高倉式コンポスト”の取組が本になりました！**

## 出版記念セミナー開催!

『高倉式コンポストとJICAの国際協力  
～スラバヤから始まった高倉式コンポストの歩み～』

北九州市は、深刻な公害を産学官民の協力によって克服してきた経験を活かし、環境施策に積極的に取り組んでおり、こうした取組を市内にとどまらず、環境国際協力やビジネスという形で海外展開しています。

経済成長著しいアジア地域では、人口増加に伴うごみ問題が喫緊の課題となっており、北九州市は、2004年よりインドネシア・スラバヤ市で生ごみのコンポスト（堆肥）化事業に取り組み、現地で確立された「高倉式コンポスト」技術は、ごみ問題の有益な解決策の一つとして、今では世界60カ国以上で普及しています。

この度、この「高倉式コンポスト」にかかるこれまでの国際協力の取組について単行本が出版されたことを記念し、JICA等と共催で記念セミナーを開催いたします。

### 記

1 日時 令和5年8月8日(火)16:00～17:30

2 場所 JICA九州 大会議室(八幡東区平野2-2-1)

3 次第 16:00-16:05 開会挨拶

JICA九州 所長 吉成 安恵

16:05-16:20 著者・書籍紹介 高倉 弘二

16:20-17:10 パネルディスカッション

《テーマ》(仮)高倉式コンポストの実績を踏まえた今後の展望

《パネリスト》・高倉 弘二(高倉環境研究所代表)

・三好 直子((公社)日本シェアリングネイチャー協会専務理事)

・向井 候太(株式会社 ecommit)

・田村 えり子(JICA 地球環境部 審議役)\*モデレーター

17:10-17:25 質疑応答

17:25-17:30 閉会挨拶 北九州市副市長 片山 憲一

4 共催 JICA 緒方貞子平和開発研究所、JICA九州、  
北九州市、(公財)北九州国際技術協力協会(KITA)

5 参加者 対面参加:100名、オンライン(Zoom)参加:定員1,000名(海外含む)

6 その他 参加申込み方法:登録申込みフォームから申込み(報道機関は申込不要)

URL:[https://www.jica.go.jp/jica/ri/news/event/1515820\\_23518.html](https://www.jica.go.jp/jica/ri/news/event/1515820_23518.html) →

参加申込み期限:令和5年8月7日(月)正午まで

※駐車場は台数に限りがございますので、公共交通機関等でお越しください。



### 【問い合わせ先】

・本市の環境国際協力に関すること 環境局環境国際戦略課 担当:村上(課長)、磯部(係長)  
(TEL:093-662-4020)

・本セミナーの内容及びJICAに関すること JICA九州研修業務課 担当:三浦  
(TEL:093-671-8360(直通))

## 1 著者について

著者：高倉 弘二（たかくら こうじ）

兵庫県生まれ。大学卒業後、電子部品メーカーを経て、電力系の会社に入社し環境関連の業務に従事。北九州市内の事業所に異動した後、2004年、(公財)北九州国際技術協力協会(KITA)より協力依頼を受け、インドネシア・スラバヤ市でコンポストの技術指導を実施し、かの地で「高倉式コンポスト」を確立しました。



九州工業大学で博士の学位を取得し、2016年に高倉環境研究所を設立・代表に就任。「高倉式コンポスト」をはじめとした資源循環システム作り等に国内外で従事しています。

## 2 高倉式コンポストについて

高倉氏が長年の研究成果を具現化した生ごみコンポスト技術。コンポストの基礎理論を再現する技術を体系化し、現地で安価かつ簡単に手に入る微生物・有機物、資機材や既存設備を使用し、現地の実情に応じて生ごみのリサイクルを完結させる点に特徴があります。

## 3 出版本について

- (1) 発行日 2023年3月31日（第1刷）
- (2) 出版社 ㈱佐伯コミュニケーションズ出版事業部（東京都渋谷区千駄ヶ谷）
- (3) サイズ等 単行本（B6版）・206ページ、日本語
- (4) 定 価 1,100円（税込）
- (5) 購入方法 出版社又は通販購入サイトを通じて申込
- (6) 概 要 (JICA 緒方貞子平和開発研究所ホームページ参照)

経済成長著しい開発途上国では、深刻な廃棄物問題に直面し、山と積まれた生ごみが悪臭を放ち、環境汚染や社会不安を引き起こしていることが少なくありません。

そんな中、生ごみリサイクル技術として、また、画期的な廃棄物減量的手段として、2004年に、「高倉式コンポスト」がインドネシア・スラバヤ市の廃棄物管理改善事業（(独)環境再生保全機構地球環境基金）に採択。今では、導入された国は実に世界63カ国に及びます。世界的な展開の背景には、高倉式コンポストの有用性もさることながら、JICA九州をはじめとする国内外での研修の実施や、JICA海外協力隊による現地での普及活動等があります。

本書は、熱心で、時にユーモラスな高倉氏の活動をまとめたものです。

## 4 JICA 緒方貞子平和開発研究所『プロジェクト・ヒストリー』シリーズについて

JICA 緒方貞子平和開発研究所は、JICA 初代理事長であった緒方貞子氏（2019年永眠）の遺志を引き継ぎ、持続可能な平和と開発を目指し、人間の安全保障を追求する研究機関として、2020年4月に、それまでのJICA研究所から名称変更。

これまでJICAが開発途上国の発展のために行ってきた技術協力、資金協力、ボランティア派遣等の事業を振り返り、その軌跡と成果を分析し、事実に基づいた読み物としてまとめた『プロジェクト・ヒストリー』シリーズを2010年より刊行。

北九州市の取組が取り上げられたのは、シリーズ第13弾として2015年に刊行された、『プノンペン』の奇跡 世界と驚かせたカンボジアの水道改革』以来2例目。